

**趣旨** 今日、都市・住宅・建築物の分野においては、地球温暖化に伴う気候変動や資源・エネルギー問題によって経済・社会等に重大な影響が及ばないように、温室効果ガスの排出削減に資するエネルギー利用の高度化、炭素の貯蔵に資する木材利用の促進、産業廃棄物の削減に資する建設副産物のリサイクル等、低炭素社会の構築に貢献することが求められています。また、建築ストックの再生・活用、維持管理の適正化、高齢者対応等、我が国における人口減少・少子高齢化に対応した住宅・建築・都市の維持・再生を実現することが求められています。

本研究発表会では、このような社会的要請を踏まえ、環境と調和した建築物の省エネルギー・省CO<sub>2</sub>化のための研究や、木造建築物の中高層化に必要となる耐火性・耐震性に優れた部材や構工法等について、最新の研究成果を発表し、都市・住宅・建築物の持続可能性について考えていきます。

**日時** 2017年2月1日(水) 10:00-12:00 (受付 9:30 から)

**会場** 政策研究大学院大学 1階 1A~1C 会議室 (下図参照) 定員: 100名

**主催** 国立大学法人 政策研究大学院大学、国立研究開発法人 建築研究所

## プログラム

10:00-10:10 主催者挨拶

沓澤隆司 政策研究大学院大学 教授

山海敏弘 建築研究所 環境研究グループ長

10:10-11:10 講演

野城智也 (東京大学生産技術研究所 教授)

「住宅生産分野における持続可能性 (仮題)」

福井武夫 (国土交通省住宅局住宅生産課 企画専門官)

「建築物における省エネ基準への適合義務化等について」

11:10-11:55 研究発表

桑沢保夫 (建築研究所 環境研究グループ 上席研究員)

「建築物の環境性能に配慮した省エネルギー性能の評価に関する研究」

槌本敬大 (建築研究所 材料研究グループ 上席研究員)

「中高層木造建築物等の構造設計技術の開発」

11:55-12:00 まとめ



政策研究大学院大学位置図  
東京都港区六本木 7-22-1

### 入場無料 (事前登録制)

氏名、所属を明記の上、できるだけ1/27(金)までにご連絡下さい。  
定員になり次第申込を締め切らせていただきますのでご了承ください。  
申込先: 政策研究大学院大学 担当: 杉浦  
(E-mail: zizoku@grips.ac.jp)

※本研究発表会は、下記CPD制度の共通認定プログラムです。

建築CPD情報提供制度、JIACPD制度、建築士会CPD制度、建築設備士関係団体CPD制度、APECアーキテクト、APECエンジニア、建築施工管理CPD制度